

緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	清水 喜美男さん (甲斐市)		
育てた植物の種類	パッションフルーツ、ぶどう、フウセンカズラ、ゴーヤ等		
設置場所	住宅東側、南側、西側の窓辺		
カーテンの大きさ	高さ: 約 2.8 m, 幅: 約 9.3 m 他	取り組み年数	8年目

緑のカーテンの効果

今年は、北側を除く住宅全面に色々な緑のカーテンを設置しました。3年前から西側に植えたぶどうは、「山梨の特産のぶどうで節電を!」といった強い思いがあるので、今後の普及拡大を図っていきたいと思います。

室内の温度測定はしていませんが、今夏もクーラーなしで過ごせました。また、葉のすき間を通る爽やかな風を感じる時は心休まる幸せな時間で、今年は特にその有り難さを実感しました。さらに、「家のファッション」としての視点からも毎年緑のカーテンを設置していますが、今年はバランス良く仕上がったと自負しています。

今年は、ご近所でも緑のカーテンに取り組む方が増え、育て方や管理方法の会話を通じて今まで以上にコミュニケーションを交わすようになったので、うれしい限りです。

育てる際の工夫・苦労

毎年、棚の形状や大きさ、枝のはわせ方などが前年より少しでも前進できるように考えて工夫することに楽しみを感じています。今年は、例年より1株当たりの土の量を多くして栽培しましたが、結果として茎の太さや生育度が向上しました。来年も新しい組み合わせを試行する予定ですが、「何が最良であるのか?」は永遠の課題であり、大きな楽しみでもあります。

パッションフルーツ、ぶどう、ゴーヤは食べることを度外視していたので消毒は一切していませんが、結構良い収穫物ができているので、これも立派な無農薬栽培になっていると思います。

感想・楽しみ方など

収穫したパッションフルーツ、ぶどう、ゴーヤは、おいしく食べることができました。ゴーヤジュースは極暑を乗り切るための栄養剤として効果抜群でした。

毎年、雨水タンクと緑のカーテンを組み合わせることで省エネを実践していますが、最近では地域の方の意識もだんだん高まりを見せていて、色々な問い合わせも多くなっていますので、緑のカーテン等のさらなる普及を目指していきたいと思えます。来年以降も、山梨のぶどうを緑のカーテンの取り組みの主流として実践しながら、広く普及できるようにノウハウを蓄積していきたいと思えます。